電磁戦隊メガレンジャー（1997～1998）

メディア TV
ジャンル 特撮　アクション　ヒーロー
製作国 日本
色彩 Color
TV放映 1997/02/14 ～ 1998/02/15
金／日
１７：３０～１７：５５／７：３０～８：００
テレビ朝日

【解説】

諸星学園高校に通う高校生、伊達健太は対戦格闘ゲームの腕を見込まれてI.N.E.T.にスカウトされる。彼が得意とするゲーム“メガレンジャー”はネジレ次元の侵略に対抗する戦士を選抜するための装置だったのだ。焼き肉を条件に研究所に連れてこられた健太は、たまたま見学に来ていたデジタル研究会のメンバー４人と共に邪電王国ネジレジアの攻撃に巻き込まれるが、全力で窮地に立ち向かう５人の姿を目の当たりにした久保田博士は彼らの若さに未来を託すことを決意する。デジタイザーを渡された健太達５人の高校生は変身コード“３３５”の入力でデジタル技術の戦士・メガレンジャーにインストール、Ｄｒ．ヒネラー率いるネジレジアに立ち向かう。激しい戦いの中で明らかになるヒネラーの過去と野望、新幹部ギレールの参戦、そしてネジレジアの独裁者ジャビウスⅠ世の細胞から産み出された邪電戦隊ネジレンジャーの登場により、物語は最終局面に向けて突き進んで行くのであった。

インターネットに象徴されるデジタル技術という抽象的なモチーフを、ブームを過ぎた感のある格闘ゲーム的な演出で具体化するという基本コンセプトに加え、ネジレジアの侵略の目的やネジレ次元の位置付けといった敵側の設定も明確でなかったことから、全体に漠然とした印象でのスタートとなった本作品ではあるが、逆にシリーズ前半を主人公５人の学生生活中心の青春ドラマとしたことで各自のキャラクターが深まり、これが後の展開に生きることになる。中盤に登場する６人目のメガレンジャー・メガシルバー早川裕作を飄々としたキャラクターに設定した点も巧妙で、ともすればリーダー的な立場になりかねないシルバーをメガレンジャーの兄貴分的な存在に留め、高校生戦隊という最大の特徴を残すことに成功している。また、衛星軌道上のメガシップが百人のI.N.E.T.隊員を乗せたままギャラクシーメガに変形合体し、大気圏へ突入して巨大ネジレ獣と戦うという大胆な設定も、人間ドラマを描く上で効果的に使用された。

これらのドラマの積み重ねが描き出す“友情と信頼”というテーマは、やがて明らかになる久保田とヒネラーとの因縁との対比によって一層強調され、最終回の卒業式の場面で見事に結実するのであった。

なお、第８話からは放送日時が金曜日１７：３０から日曜日７：３０へ変更となるとともに、放送時間も３０分へ拡大されている。

【クレジット】

監督	長石多可男	
	竹本昇	
	田崎竜太	
	辻野正人	
	坂本太郎	
アクション監督	竹田道弘	
プロデューサー	太田賢司	（テレビ朝日）
	高寺成紀	
	武部直美	（東映）
	矢田晃一	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

原作	八手三郎	
脚本	武上純希	
	荒川稔久	
	柳川茂	
	小林靖子	
キャラクターデザイン	下条美治	
撮影	いのくままさお	
特撮監督	佛田洋	
視覚効果	沖満	
美術	山下宏	
造型	前澤範	
	レインボー造形企画	
編集	成島一城	
	菅野順吉	
音響効果	大泉音映	
音楽	奥慶一	
アクション	横山一敏	
	岡元次郎	
	高岩成二	
	蜂須賀祐一	
	神尾直子	
	竹内康博	
	伊藤慎	
	森美昭	
	水谷健	
	佐治康志	
	中村龍	
特技・操演	鈴木昶	
	阿部匠	
特技・撮影	高橋政千	
特技・美術	木植健次	
アクション	日下秀昭	
イラスト	野口竜	
	スタジオメルファン	
出演	大柴邦彦	伊達健太／メガレッド
	江原淳史	遠藤耕一郎／メガブラック
	松風雅也	並樹瞬／メガブルー
	田中恵理	城ヶ崎千里／メガイエロー
	東山麻美	今村みく／メガピンク
	斉藤暁	久保田衛吉博士
	城麻美	シボレナ（ネジレジアの女幹部）
	森下哲夫	Ｄｒ.ヒネラー
	野添義弘	大岩先生
	サムエルポップ	ＩＮＥＴ隊員
	金井茂	早川裕作／メガシルバー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

	宮下敬夫	立花
声の出演	関智一	ビビデビの声
	鈴置洋孝	ユガンデの声
	大友龍三郎	ジャビウスⅠ世の声
	仁内建之	ギレールの声

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.